

### 第3回電気技術顕彰「でんきの礎<sup>いしづえ</sup>」として4件を顕彰

～3月18日に明治大学で授与式を挙～

平成22年2月

社団法人 電気学会

会長 松瀬 貢規

電気学会は平成20年創立120周年を迎えましたが、その記念事業の一環として「社会生活に大きく貢献した電気技術」の功績を称え、その価値を多くの人に知ってもらい、電気技術への関心を持ってもらうことを目的に、技術的価値、社会的価値、あるいは学術的教育的価値のいずれかを有する約25年以上経過した電気技術の業績を「でんきの礎<sup>\*1</sup>」(One Step on Electro-Technology)として顕彰<sup>\*2</sup>しております。

(<sup>\*1</sup>: カテゴリーとして『モノ』『場所』『こと』『人』の4つを設定 <sup>\*2</sup>: 「顕彰」とは「隠れた功績・善行などを称え、広く世間に知らせること」)

## でんきの礎

—振り返れば未来が見える—

One Step on Electro-Technology

- Look Back to the Future -

第1回目は「秋葉原(秋葉原駅周辺の電気街)」など10件(16顕彰先)、第2回目は「新幹線鉄道システム」や「電気釜」などの5件(8顕彰先)、そして第3回目の今回は下記の4件を選定しました。

(顕彰名称50音順)

第3回「でんきの礎」 顕彰名称	顕彰先
ウォークマン	ソニー株式会社
ノンラッチアップ IGBT (絶縁ゲート・バイポーラトランジスタ)	株式会社 東芝
明治期の古都における電気普及の先進事蹟 ～琵琶湖疏水による水力発電および電気鉄道に関する事業発祥の地～	京都市上下水道局 関西電力株式会社 京都市交通局
臨界プラズマ試験装置JT-60	独立行政法人 日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門 那珂核融合研究所

つきましては、平成22年全国大会の特別講演に合わせて下記のとおり授与式を行いますので、お誘い合わせのうえぜひご参加ください。

平成22年電気学会全国大会 特別講演式次第(案)	
日時	3月18日(木) 午後2時から5時30分
場所	明治大学駿河台校舎 リバティタワー1階1013室
次第	午後2時10分～2時40分 <講演>中国電機工程学会 副会長 Chen Feng 氏 午後2時40分～3時40分 <講演>明治大学 教授 日向一雅氏(光源氏の恋—闇と光—) 午後3時50分～4時30分 <講演>元松下電器産業(株) 松岡道雄氏(技術と経営) 午後4時30分～5時00分 <<授与式>>第3回電気技術の顕彰制度『でんきの礎』授与式 午後5時00分～5時20分 <<授与式>>平成21年電気学会全国大会優秀論文発表賞授与式

若者の理工系離れが進む中「でんきの礎」が電気技術の素晴らしさ、面白さを顕在化させ、それによって若い人たちの電気技術への関心が高まること、また、今後の電気技術の発展への寄与にもつながることから「でんきの礎」の選定は当学会が果たすべき社会的責任でもあると考えております。引き続き当学会の重要事業のひとつとして「でんきの礎」の選定を行っていく所存ですので、今後ともご支援いただきますようお願い申し上げます。(第4回につきましては現在候補の推薦を公募中(6月10日締切)です。)

記念品として差し上げている

クリスタルトロフィー(右)

青銅プレート(下)



本件に関するお問合せ先

社団法人 電気学会 総務課 顕彰担当

e-mail jimkyoku@iee.or.jp

電話 03-3221-7312

以上

## 第 3 回電気技術顕彰「でんきの礎」

社団法人 電気学会

	<p><b>ウォークマン</b></p> <p>[カテゴリー]モノ</p> <p>[顕彰先]ソニー株式会社</p> <p>[顕彰理由] “ウォークマン” は、世界初のポータブルオーディオプレイヤー（再生専用機）として開発され、音楽をいつでも、どこでも、まわりを気にせず楽しみたいという人々の願望に応えた。音楽の楽しみ方やライフスタイルを大きく変えた画期的な製品である。 (写真提供：ソニー株式会社)</p>
	<p><b>ノンラッチアップ IGBT（絶縁ゲート・バイポーラトランジスタ）</b></p> <p>[カテゴリー]モノ</p> <p>[顕彰先]株式会社 東芝</p> <p>[顕彰理由] ノンラッチアップ IGBT は、電車から家電、情報通信機器、ハイブリッド自動車に至るまでパワーエレクトロニクス分野に幅広く IGBT が普及する端緒となった素子である。今日のパワーエレクトロニクス分野発展の極めて重要な立役者である。 (写真提供：株式会社東芝)</p>
	<p><b>明治期の古都における電気普及の先進事蹟</b> ～琵琶湖疏水による水力発電および電気鉄道に関する事業発祥の地～</p>
	<p>[カテゴリー]場所/こと</p> <p>[顕彰先]京都市上下水道局，関西電力株式会社，京都市交通局</p> <p>[顕彰理由]明治 23 年に琵琶湖疏水が竣工し、翌年それを利用した蹴上発電所が国内初の事業用水力発電所として発電を開始した。その電力供給をうけた路面電車として、京都電気鉄道伏見線が明治 28 年に開業した。 明治期の古都におけるこれらの事柄は、電気普及に向けた発電から鉄道に至る当時の先進的かつ全体的な取組みとして高く評価されるものである。 (写真提供：京都市上下水道局，関西電力株式会社，京都市交通局)</p>
	<p><b>臨界プラズマ試験装置 JT-60</b></p> <p>[カテゴリー]モノ/こと</p> <p>[顕彰先]独立行政法人 日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門 那珂核融合研究所</p> <p>[顕彰理由]トカマク型臨界プラズマ試験装置 JT-60 は大規模な電気システムであり、大容量の電動発電機、直流遮断器、大電流サイリスタ変換器、大出力マイクロ波管などの電気技術開発のもとに建設され、臨界条件を達成するとともに持続的な原子核反応を高効率で発生できることを実証し、国際熱核融合実験炉の建設への道を拓いた。 (写真提供：日本原子力研究開発機構)</p>

(顕彰名称 50 音順)

URL: <http://www.iee.or.jp/ishizue.html>